

# 川崎大師教学研究so 活動報告

平成28年1月1日～12月31日

## 1. 講演会

会場：川崎大師教学研究so講堂

◆『同行二人 一空海 時空を超えて一』 発刊記念講演会

3月19日（土）午後1時～2時

「浮世絵に見る川崎の街とお大師さま」

国際浮世絵学会理事 編集委員

公益社団法人 川崎・砂子の里資料館理事

小池満紀子 先生

◆平成28年度 川崎大師仏教文化講座

「弘法大師の教えに学ぶ」（全6回）

午後2時～3時30分・日曜日開催

・第1回：4月3日

「弘法大師の文章を読む—大使福州の觀察使に与うるがための書—」

福田亮成 所長

・第2回：5月1日

「知られざる空海的一面」

小峰彌彦 教授

・第3回：6月5日

「弘法大師の私的思想空間」

廣澤隆之 教授

・第4回：9月4日

「生活に生かす弘法大師の教え」

北尾隆心 教授

・第5回：10月9日

「弘法大師の青年期に学ぶ」

佐藤隆一 教授

・第6回：11月13日

「どのようにして仏となるのか？ —密教の成仏論—」

種村隆元 教授

◆第17回 公開講演会

11月6日(日)午後2時～3時30分

「高野山大伝法院本尊等之事—弘法大師空海から覚鑿が学んだこと—」

根来寺文化研究所所長 中川委紀子 先生

2. 研究会

◆川崎大師教学研究所「聖教類研究会」(『釈論打集類聚』の研究)

第2回：2月18日(木)

第3回：4月25日(月)

第4回：6月15日(水)

第5回：8月3日(水)

第6回：11月14日(月)

第7回：12月19日(月)

3. 会 議

◆「教授会」・「川崎大師教学研究所会議」

上期：7月4日(月)

下期：12月18日(日)

◆『川崎大師教学研究所紀要』編集会議

第1回：2月14日(日)

第2回：2月28日(日)

第3回：12月18日(日)

4. 出 版

◆『お大師さまとともに』第44集

※平成28年1月1日発行

◆『川崎大師教学研究所紀要』創刊号

※平成28年3月21日発行

## 「聖教類研究会」活動報告

研究会代表 福田亮成

本研究会は、川崎大師教学研究所所蔵の聖教の整理、並びにその研究を目的として発足した。

現在は、義剛（?～1715）が書写した『釈論打集類聚』をテキストとして用いている。

義剛は和泉国の木島出身の人で、19歳で高野山に登り修行に励み、正智院の秀傳より両部の印璽を授かっている。後に靈雲寺の浄巖に師事し、元禄10年には高野山に戻り、活躍された。そして正徳5年3月21日、釈迦文院にて遷化されている。また義剛には『三教指歸刪補私考』や『菩提心論教相記講要』等、多数の著作がある。

『釈論打集類聚』は概観すると、『釈摩訶衍論』の語義の解説書である。しかし、『釈摩訶衍論』の本文と対比してみると分量が大変不足しており、未完の書であると考えられる。また『国書総目録』によれば、高野山金剛三昧院や高野山三宝院に『釈論打集』という文書があるとされるが、いまだそれとの関係は確認できていない。

尚、当研究所所蔵本の表紙に日付が確認できることから、これは講義の記録とも考えられる。当時の高野山の宗学研究の一面を捉える貴重な書であると言わなければならない。

以上のことより、本書が広く真言宗学に普及しているとは言い難く、貴重な書であることが考えられる。

当面は翻刻、書き下し、並びに和訳の完成を目指して研究を進めていきたい。